



『鹿島の未来』

古枝小学校 六年 高井 勇成

「鹿島の魅力は何でしょう？」

皆さんはどのように聞かれると、どんなことを想像するでしょうか。歴史ある祐徳神社、白壁の酒蔵が並ぶ肥前浜宿、有明海の干潟、豊かな自然、人のあたたかみ。私たちの住む鹿島市はたくさんの魅力であふれています。一方、調べてみると、「人口減少」、「少子高齢化」が鹿島市の課題であることが分かりました。佐賀新聞の記事によると、佐賀県は人口に占める十五歳未満の割合が全国トップながら、大学進学を機に、毎年三千人が他県に進学するそうです。これには驚きました。最近では、佐賀県の取組に大学の新設、佐賀大学の新しい分野の開設が予定されていますが、これにより、若者が学ぶ場所が保障され、卒業後地元で就職する人が増えれば、将来的に県内の地域社会が発展すると考えます。

私は今、社会体育で野球部に所属しており、その中で大切なことをたくさん学んでいます。礼儀作法、思いやり、チームワーク、負けない気持ち、感動する心、周囲への感謝。スポーツの持つ力は偉大だと感じられるようになりました。こうした学びから、将来、スポーツに関連した仕事に就き、地域社会に貢献できる人になりたいと考えています。そのために、スポーツを様々な視点から学べるスポーツ科学部のある大学に進学したいです。佐賀県の大学でこのような勉強ができたらいいなと思います。卒業後は、地元鹿島で、スポーツのすばらしさを広め、子供から大人まで運動できる施設をつくり、健康づくりと世代を超えた触れ合いができる場所をつくりたいです。スポーツを通して、人と人とのつながりができたら素敵だと考えます。

さて、これからますます高齢社会が進んでいくと考えられます。そうした中、高齢の方に元気で、健康で過ごしてほしいと思っています。私の祖母は、足腰が悪く、長距離を歩くことができません。旅行に行くときは車いすを使用します。自分の足で行動できないことで楽しさが半減するようです。だから私は、よく面白いことをして祖母を笑わせます。祖母は私を見ているだけで面白くて元気がでるといいます。「楽しさ」は心のエネルギーになるようです。

心から「楽しい」、「エネルギーが満たされている」と感じるのはどのような時でしょうか。私は、その中の1つに「感動」があると思います。私は、小さいころから習い事として日本舞踊を続けていますが、発表会ではたくさんの方々が晴れやかに声をかけてくれます。まだまだ自信は小さいですが「感動」を届けられているのかもしれない。スポーツに限らず、伝承芸能等、文化的な行事も継続して開催してほしいと考えています。今年、小学校で、サガン鳥栖の豊田陽平選手をはじめ、さまざまな仕事のプロフェッショナル

ルに来ていただき、いろいろな話を聞かせていただきました。とても貴重な経験で、新たな視点に気づいた時は、これからは生かそうと、心のエネルギーが湧いてくるようでした。やはり、人とのつながりの中で、心が動くものだと実感しました。もし、この会場に、好きなスポーツ選手、好きな歌手、好きなお笑い芸人が来たら、きっと感動できると思いませんか。

地域の子供から大人まで、元気で健康に生き生きと過ごせる、そんなふるさと鹿島にしたいです。